

# 系統豚「アワヨーク」の維持に関する試験

森 直樹・新居 雅宏・谷 史雄

## 要 約

- 1 平成 5 年 7 月に認定された大ヨークシャー種系統豚「アワヨーク」の維持試験を実施した。
- 2 平成 13 年度には 60 腹が分娩し、489 頭の子豚を生産、維持群の更新に雌 13 頭、県内の増殖農家 5 カ所に雄 1 頭、雌 39 頭を配布した。
- 3 繁殖育成成績は平均総産子数 10.45 頭、平均哺乳開始頭数 8.15 頭、平均離乳頭数 6.82 頭、育成率 83.6%、平均生時体重 1.39kg、平均離乳時体重 7.90kg であった。
- 4 平成 13 年度中に雌 13 頭を更新した結果、平均血縁係数  $24.93 \pm 9.72$ 、平均近交係数  $8.91 \pm 1.63$ 、遺伝的寄与率変動係数 1.083 となった。

## 目 的

昭和 61 年から徳島県立農林水産総合技術センター畜産研究所肉畜分場（前徳島県肉畜試験場）において開始された大ヨークシャー種の系統造成は平成 5 年 6 月に完成し、同年 7 月に系統豚として認定され、「アワヨーク」と命名された。この認定された系統豚を長期間にわたり集団の遺伝的構成の変化をできるだけ少なく維持するとともに維持群の近交係数の上昇に伴う繁殖育成成績、産肉能力等への影響について調査する。

## 試験方法

- (1) 試験期間  
平成 5 年～
- (2) 供 試 豚  
平成 5 年 7 月に認定された大ヨークシャー種系統豚「アワヨーク」の維持群  
(雄 9 頭、雌 35 頭の集団)
- (3) 飼養管理  
飼料の種類及び給与法を表 1 に、衛生管理法を表 2 に示した。

表 1 飼料の種類及び給与方法

区分	種類	TDN (%)	DCP (%)	給与期間	給与方法
子豚	人工乳 A	84.0	19.0	7日齢～10kg	不断給餌
	人工乳 B	80.0	16.5	10～30kg	不断給餌
育成豚	育成用	77.0	14.0	30～60kg	不断給餌
	種豚用	72.0	12.0	60～90kg	不断給餌
種豚	種豚用	72.0	12.0	90kg～	制限給餌

表 2 衛生管理

対象豚	対象疾病	薬品名	投与時期	投与量	投与方法
子豚	A R	AR不活化V	1, 2週齢	1 ml	筋注
		カナマイシン	0, 4d, 1, 2, 3, 4w	8 ml	鼻腔内噴霧
	肺炎	ヘモフィルス2価V	5, 9週齢	2 ml	皮下注
	豚丹毒	豚丹毒V	50～60日齢	1 ml	皮下注
種豚	寄生虫	デストネート	6週齢	0.1%	飼料添加
	日本脳炎	日本脳炎V	4, 5月	1 ml	皮下注
	豚パルボ	豚パルボV	7カ月齢	1 ml	皮下注

#### (4) 調査項目

維持の状況

繁殖育成成績

集団の遺伝的構成

### 結果及び考察

#### (1) 維持の状況

平成 13 年度には 60 腹が分娩し、雄 266 頭、雌 223 頭の子豚を生産、維持群の更新に雌 13 頭、県内の増殖農家 5 戸に雄 1 頭、雌 39 頭、その他 1 カ所に雌 3 頭を配布した。

#### (2) 繁殖育成成績

平成 13 年度は、平均総産子数 10.45 頭、平均哺乳開始頭数 8.15 頭、平均離乳頭数 6.82 頭、育成率 83.6%と、前年度に比較して総産子数、哺乳開始頭数とも 1 頭以上の減少となった。この原因については、前年に比較して受胎率が約 7%悪かったこと等と関係があると思われる。離乳平均体重、育成率は向上した。

表3 維持の状況

項目	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年
種雄豚数	9	9	9	9	9	9	9	9	9
種雌豚数	35	35	35	35	34	32	31	34	35
分娩腹数	83	60	54	53	67	55	53	54	60
生産子豚数 (雄)	432	328	212	197	301	253	269	280	266
(雌)	425	302	201	223	276	255	252	240	223
種畜候補頭数 (雄)	12	15	13	20	13	2	8	3	1
(雌)	115	78	65	50	97	34	38	44	55
自場更新頭数 (雄)	0	1	2	3	2	0	2	2	0
(雌)	4	5	6	15	12	6	7	15	13
配布場所数	8	9	8	8	7	4	6	4	6
配布頭数 (雄)	10	7	5	15	9	2	4	1	1
(雌)	82	59	38	35	74	25	31	29	42

表 4 年度別繁殖育成成績

年 度	平成 5 年度		平成 6 年度		平成 7 年度	
項 目	総数	平均±標準偏差	総数	平均±標準偏差	総数	平均±標準偏差
分娩頭数(頭)	83		60		54	
総産子数(頭)	939	11.31 ± 3.18	767	12.78 ± 3.32	531	9.83 ± 3.54
哺乳開始(頭)	857	10.33 ± 3.40	630	10.50 ± 3.67	413	7.65 ± 3.48
平均体重(kg)		1.27		1.36		1.47
離乳頭数(頭)	713	8.59 ± 3.04	496	8.27 ± 3.15	325	6.02 ± 3.01
平均体重(kg)		7.55		7.13		7.82
育成率(%)	83.2		78.7		78.7	

  

年 度	平成 8 年度		平成 9 年度		平成 10 年度	
項 目	総数	平均±標準偏差	総数	平均±標準偏差	総数	平均±標準偏差
分娩頭数(頭)	53		67		55	
総産子数(頭)	512	9.66 ± 3.65	728	10.87 ± 3.28	620	11.27 ± 3.19
哺乳開始(頭)	419	7.91 ± 3.25	577	8.61 ± 3.29	508	9.23 ± 2.98
平均体重(kg)		1.38		1.31		1.29
離乳頭数(頭)	336	6.34 ± 2.86	436	6.51 ± 3.34	412	7.49 ± 3.36
平均体重(kg)		7.66		7.40		7.51
育成率(%)	80.2		75.6		81.1	

  

年 度	平成 11 年度		平成 12 年度		平成 13 年度	
項 目	総数	平均±標準偏差	総数	平均±標準偏差	総数	平均±標準偏差
分娩頭数(頭)	53		54		60	
総産子数(頭)	630	11.89 ± 3.44	642	11.89 ± 3.36	627	10.45 ± 3.60
哺乳開始(頭)	521	9.83 ± 3.35	520	9.63 ± 3.28	489	8.15 ± 3.30
平均体重(kg)		1.32		1.35		1.39
離乳頭数(頭)	393	7.42 ± 3.09	419	7.76 ± 3.22	409	6.82 ± 3.16
平均体重(kg)		7.52		7.47		7.90
育成率(%)	75.4		80.6		83.6	

## (3) 集団の遺伝的構成

平成 13 年度中に雌 13 頭を更新した結果,集団の遺伝的構成は平均血縁係数  $42.93 \pm 9.72$ , 平均近交係数  $8.91 \pm 1.63$ , 遺伝的寄与率変動係数 1.083 となった。

表5 平均血縁係数・近交係数・遺伝的寄与率変動係数の推移

時 期	平成5年末		平成6年末		平成7年末		平成8年末	
項 目	例数	平均値±標準偏差	例数	平均値±標準偏差	例数	平均値±標準偏差	例数	平均値±標準偏差
平均血縁係数	946	20.27 ± 9.21	946	20.43 ± 9.07	946	20.54 ± 8.61	946	20.97 ± 8.21
平均近交係数	44	5.73 ± 1.21	44	5.75 ± 1.09	44	6.17 ± 1.39	44	6.95 ± 1.32
遺伝的寄与率 変動係数		0.020		0.106		0.252		0.482

  

時 期	平成9年末		平成10年末		平成11年末		平成12年末	
項 目	例数	平均値±標準偏差	例数	平均値±標準偏差	例数	平均値±標準偏差	例数	平均値±標準偏差
平均血縁係数	903	21.53 ± 8.28	820	21.75 ± 8.53	780	22.48 ± 8.62	903	23.83 ± 9.16
平均近交係数	43	7.77 ± 2.05	41	8.07 ± 2.14	40	8.78 ± 2.11	43	8.87 ± 1.85
遺伝的寄与率 変動係数		0.691		0.754		0.725		0.955

  

時 期	平成13年末	
項 目	例数	平均値±標準偏差
平均血縁係数	946	24.93 ± 9.72
平均近交係数	44	8.91 ± 1.63
遺伝的寄与率 変動係数		1.083